



きっずぶらす通信 2月号



発行：令和5年2月

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続きますね。感染症も流行っておりますが、今月はお子様がいつも楽しみにしてくださっているおやつ作りもあるので、元気に来所していただけるのをお待ちしております(*^^*)

今月の活動



1月は、お正月あそびとして『福笑い』をしました。福笑いをする人、お友達に顔のパーツを渡す人、パーツを置く位置を教える人というような役割分担をしました。

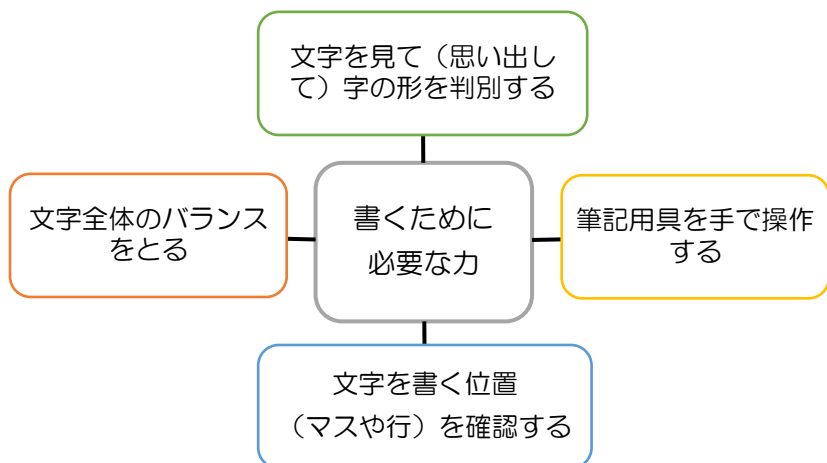
「もう少し右だよ。」とお友達に分かりやすく伝える様子や、お友達に教えてもらったことを聞いてからパーツを動かすといった、お友達同士で協力するやりとりが見られました。

できあがった顔を見てにこにこことみんなで笑って楽しむ様子や、「OOさん、すごく上手だね！」とお友達同士で見比べて声をかけ合う様子が見られました(^^)

TOPICS

どうすれば文字を上手に書けるようになるの？

書くために必要な力の例



対応の仕方の例

- 文字のバランスをとることや、枠内からはみ出ないようにするために
⇒マスに補助線を入れてバランスを取りやすくする
- 字の形を認識する・お手本の字を見て書く力をつけるために
⇒漢字やひらがなの間違い探し、イラストの間違い探しをする
- 書く力をつけるために
⇒なぞり書きや迷路をして、筆記用具を指先で使う力をつける

きっずぶらすでは、学習支援は行なっておりませんが、お子様の学習スタイル(例：イラストを見た方が分かりやすい、実際の動き方を他者がモデル提示したのを見た方が分かりやすい等)や得意なこと・苦手なところを保護者様と共有させていただきながらご家庭でのお子様への伝え方についてご提案をさせていただきたいと考えております。

上記は一例ですので、何かご不明点等ございましたら、職員へお尋ねください。